

事業所名		放課後等デイサービス つばさ				支援プログラム		作成日	2025 年	1 月	17 日
法人（事業所）理念		社会性・生活力の向上									
支援方針		発達に心配のあるお子さまとご家族が、地域の中で少しでもゆとりを持って生活をしていけるように支援をしている通所施設です 調理や外出等の毎日の直接体験の中で、社会性や生活力の実践的なスキルアップを図れるようにサポートをしていきます。									
営業時間		10 時	0	分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし		
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・ 調理活動：献立や買い出しから参加児童たちで行い、実際に自分の口に入るまでを実践することにより、卒業後を見据えた生活機能の向上を図っています。 ・ 生活訓練：日々の生活に必要な着脱、食事、お皿洗い等の生活する上での一連の流れを練習します。 ・ 買い物訓練：予算を決めたうえで、買うべきものの取捨選択を通して計画性等の生活スキルの獲得を目指します。									
	運動・感覚	・ 屋外活動：日々の活動で「走る・投げる・蹴る」といった基本的な運動機能の維持・向上に加え、姿勢保持や動作の改善に取り組んでいます。 ・ 音楽療法：外部講師によるプログラムに基づいた粗大運動と微細運動によって、体幹や運動機能の向上を図っています。 ・ 生活訓練：生活習慣の中で感覚が必要な微細の動き、日々の生活において不可欠な道具の使い方を練習していきます。									
	認知・行動	・ 学習支援：学習面の支援が必要な児童に対して、学校課題に対するサポートを行います。 ・ 屋外活動：簡単なルールを定めた集団遊びを通して、「ルールを守って遊ぶ」ことへの理解を深めます。 ・ 調理活動：必要な過程全てに関わる事で、視覚、感触からの情報を取り入れ、偏食へのアプローチを行っていきます。 ・ 生活訓練：生活に必要な道具の使用方法を特性に合わせて学習していきます。									
	言語 コミュニケーション	・ コミュニケーショントレーニング：カードなどを使ったロールプレイを通して、自分の意見を人に伝えるスキルを磨いていきます。 ・ 話し合い：したいプログラム活動を子供たちで話し合って決めていく中で、自身の提案を表明する機会も確保しています。 ・ 児童発達支援へ訪問し、現地の児童と遊んだり、地域の小学校の児童と活動を共にする中で幅広いコミュニケーション能力の向上を目指しています。									
	人間関係 社会性	・ 公共交通機関利用：ゲーム形式で目的地までの移動手段を考え、下見や行動時の注意点を話し合うプロセスを通して主体的に活動を作り上げながら、それを実行する成功体験を積むことで社会性の獲得を目指します。 ・ 屋外活動：集団遊びを通して他者への関心を深め、集団の中で活動する経験を積んでいきます。									
家族支援		保護者との面談を6か月に1回実施しています。緊急の場合には必要に応じて、都度ヒアリングを行い、できる限り迅速に対応しています。					移行支援	・ 作業所への見学、作業の体験を行っています。 ・ 調理や製作活動により、就労に必要なスキルを身につけます。			
地域支援・地域連携		・ 地域の児童発達支援との交流 ・ 他事業所との合同イベントの開催					職員の質の向上	法人が定めたキャリアパスに沿った研修受講の機会を提供しています。また、年に一度キャリアパスに沿った自己評価を通して職員の質の向上を図っています。			
主な行事等		4月に『お花見』、5月に『BBQ』、8月に『海水浴』、『川遊び』、10月に『芋ほり』、12月『クリスマス会』、『登山』、1月に『初詣』、『お餅つき』、2月に『節分』、月1回の外部講師による音楽療法、お誕生日会、公共交通機関を使った遠足 等									